



ふとふくつひ

# 不撓不屈の人

## 堀保己一の生涯

### 第七話 堀保己一の逸話

歴史的な名人には、多くの逸話が残されています。保己一も例外でなく、保己一の人間性や、性格がよく表れた数多くの逸話があります。いくつかご紹介いたします。

#### 一・源氏物語の講義

保己一の逸話の中でも最もよく知られた話です。保己一が自宅で弟子たちに源氏物語の講義を行っていた時のことでした。突然、一陣の風が吹き、ろうそくの明かりを消してしまいました。弟子たちは慌てて、「先生、明かりが消えてしまったので講義を中断してください」と言いました。すると保己一は笑いながら、「さうさく明かりを消してしまいましたが、弟子たちは慌てて、先生、明かりが消えてしまったので講義を中断してください」と言いました。すると保己一は笑いながら、「さうさく明かりを消してしまいましたが、弟子たちは慌てて、先生、明かりが消えてしまったので講義を中断してください」と言いました。

#### 二・植物を愛する優しい心

保己一は子どもの頃、花の咲く草木が大好きだったそうです。失明前は野に咲くすみれを庭に植えて楽しみ、失明後もいろいろな花の咲く草を植えて楽しみました。目が見えないことではじめられないよう努めたともいわれ、草花は気が休まるかけがえのない楽しみだったのでしょう。失明前に見たすみれの紫、ゆずの黄、ほおずきの赤は生涯忘れなかつたそうです。

#### 三・脅威の記憶力

辰之助（保己一の幼名）が江戸に出るきっかけのひとつとなった逸話です。誰から聞いたのか、江戸では人びとに

太平記を読み聴かせる太平記読みという仕事で生活する人がいるという。それを知った辰之助は、「太平記は四十巻に過ぎず、これを語ることで妻子を養えるのなら、自分にもできないことはない」と言っただけです。これが事実であれば、すでに相当な記憶力を持っていたことになります。

#### 四・版木屋との出会い

保己一が当道座で修行をしていた頃の話です。前川屋という版木屋の前を通った時に下駄の鼻緒が切れ、この前川屋に頼りましたが、馬鹿にされ、つらく恥ずかしい思いで立ち去りました。この出来事を忘れず、発奮して学問に精を出し学者になりました。後年、群書類従を刊行する際、前川屋を版木屋として指名したと言います。

堀保己一没後200周年記念企画「不撓不屈の人」。今回は、「堀保己一の生涯」第七話をお届けします。また、堀保己一に関するホームページのご案内や皆さんからの質問の受付についてお知らせします。

### ミニ知識⑦

#### 埼玉県の三偉人

埼玉県の三偉人として顕彰されている堀保己一（本庄市出身）、渋沢栄一（深谷市出身）、荻野吟子（熊谷市出身）の三人には特別なつながりがあります。堀保己一が活躍したのは、残る二人より前の江戸時代。当然二人のことは知りません。ですが、保己一の功績や遺業が二人に大きな影響を与えました。ドラマの主人公や新一万円札の肖像になるなど、「近代日本経済の父」と呼ばれた渋沢栄一は、保己一のことを「生地を同する者」といって、強い同郷意識と敬意を持ち、保己一の顕彰事業や群書類従の版木の保存に尽力しました。荻野吟子は、日本の女医一号として有名です。しかし、その医師試験も女性であることから、当初は受験できませんでした。受験が許されたきっかけは、保己一が復刻した書物「全義解」の中に女医の前列の記述があったためです。保己一の研究が日本初の女医を生んだのです。

### ホームページでも記念企画を公開中

#### ゆかりの文化財やエピソードをご紹介します

広報ほんじょうだけでなく、市でも堀保己一没後200周年記念企画ページを公開しています。堀保己一や記念館、市内にあるゆかりの文化財のほか、2ページに掲載している渋沢栄一や荻野吟子とのエピソードや逸話についても詳しく紹介しています。

https://www.city.honjo.lg.jp/

soshiki/kyoikuinkai/  
bunkazai/nanawahokichi/  
index.html



#### ★文化財保護課

☎ 25・1186・FAX 25・1193



意外な発見があるかもしれません

### 没後200周年を記念して作成

#### 没後200周年記念フレーム切手が好評販売中



セット内容: フレーム切手 (84円×2枚)、小型二つ折り台紙

価格 600円 (1セット)

販売場所 セルデイ、生涯学習課(市役所4階)、堀保己一記念館、本庄早稲田の杜ミュージアム

※各施設の開館時間内に販売。

#### 郵便ポストに記念ロゴマーク

市内郵便局のご協力により、市内110か所のポストに記念ロゴマークのステッカーを貼り付けていただきました。



近くのポストを探してみてください

★セルデイ ☎ 72・8851・FAX 72・8854

※「フレーム切手」は、日本郵便株式会社の登録商標です。

### 郷土の偉人への理解をより深めるために

#### 皆さんからの質問をお待ちしています

連載「堀保己一の生涯」も残りわずか。皆さんがもっと詳しく知りたことや気になることについて、質問やご要望を受け付けます。

お寄せいただいた質問・ご要望については、広報ほんじょう3月号で回答します(すべての質問・ご要望にお応えできるとは限りません)。

締め切り 令和4年1月7日(金)(必着) あて先 〒367・8501 本庄市本庄3・5・3

企画担当 本庄市役所広報課「不撓不屈の人」

★広報課 ☎ 25・1155・FAX 21・8499



質問・ご要望は、左記コードからも受け付けています。

### 堀保己一記念館 特別展示・企画展

- 世のため 後のため ものがたり
- 堀保己一 原画展
- ▶ 12月26日(日)まで
- 和学講談所の刊行物
- ～日本後紀・蛭蠅抄・令義解～
- ▶ 12月26日(日)まで
- 検校堀保己一奉納の實相寺の燭台
- ▶ 令和4年3月31日(木)まで